

令和3年度 コミュニケーション英語Ⅰ シラバス

教科名：外国語 科目名：コミュニケーション英語Ⅰ 対象学年：1学年（1～6組） 単位数：3単位

使用教科書：Vivid English communicationⅠ（第一学習社）

担当者：比嘉良人 比嘉貴洋 田仲 愛

学習の到達目標	英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする基礎的な能力を養う。 具体的言語活動は次の通り。 ア．事物に関する紹介や対話などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。 イ．説明や物語などを読んで、情報や考えを理解したり、概要や要点をとらえたりする。また、聞き手に伝えるように音読する。 ウ．聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、話し合ったり意見の交換をしたりする。 エ．聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、簡潔に書く。
---------	--

評価の観点			
a. コミュニケーションへの関心・意欲・態度	b. 外国語表現の能力	c. 外国語理解の能力	d. 言語や文化についての知識・理解
コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。	外国語で話したり書いたりして、情報や考えなどを適切に伝えている。	外国語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解している。	外国語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身につけているとともに、その背景にある文化などを理解している。

学期	月	種	学習項目	学習内容	a	b	c	d	評価の方法
1学期	4月		オリエンテーション	「コミュニケーション英語Ⅰ」の学習目標、学習上の留意点、使用教材、年間計画、評価方法、などについて説明する。					
		1学期中間考査	Lesson 1 You Can Do Something for the Olympics	<題材内容とねらい> - 日本でのオリンピックの歴史や、古代オリンピックと近代オリンピックの違いを読み取らせる。 - オリンピックの成功のために、生徒自身ができることについて自ら考えさせる。 - オリンピック選手について、自分の意見を発表させる。 <文型・文法事項> 現在・過去、助動詞(can, may, must), 未来(will, be going to)を理解し、文を作ることができる。	○		○	○	- 授業での取り組み - 課題などの提出状況 - 評価問題
	5月		Lesson 2 Stories behind Names	<題材内容とねらい> - 名前の重要性和名前のもつ意味について読み取らせる。 - 登場人物や同級生の名前の由来について、自ら考えさせる。 - 自分や同級生のプロフィールを発表させる。 <文型・文法事項> 進行形(現在・過去), 不定詞の3用法, S+V+O(=that-節)を理解し、文を作ることができる。	○		○	○	- 授業での取り組み - 課題などの提出状況 - 評価問題
			Focus on Grammar ①	<ねらい> 時制(現在・過去・未来/現在進行形・過去進行形), 助動詞(can, may, must)を理解し、文を作ることができる。	○	○		○	- 授業での取り組み - 課題などの提出状況
	6月	1学期期末考査	Lesson 3 Look Cool on Your Streets	<題材内容とねらい> - 日本のストリートファッションと海外での反応について読み取らせる。 - 自国の情報を海外に発信することの意義について考えさせる。 - ファッションに対する自分の考えを発表させる。 <文型・文法事項> 動名詞, 現在完了形, 受け身(現在・過去)を理解し、文を作ることができる。	○		○	○	- 授業での取り組み - 課題などの提出状況 - 評価問題

学期 学期	月	学年 学年	学習項目	学習内容	a	b	c	d	評価の方法
	7月		Lesson 4 Our Actions Can Make Electricity	<題材内容とねらい> ・エネルギー発電の問題点と速水浩平さんが提案する発電方法について読み取らせる。 ・従来の発電方法の利点や欠点, 速水さんの発電方法がどう優れているのかを自ら考えさせる。 ・考えられる発電方法のアイデアを発表させる。 <文型・文法事項> 比較, S+V+O+to不定詞, 疑問詞+to不定詞を理解し, 文を作ることができる。	○		○	○	・授業での取り組み ・課題などの提出状況 ・評価問題
			Focus on Grammar ②	<ねらい> 準動詞(to不定詞, 動名詞, 疑問詞+to不定詞, S+V(want, tell, ask など)+O+to不定詞)を理解し, 文を作ることができる。	○	○		○	・授業での取り組み ・課題などの提出状況
			第1学期の評価方法		<評価の対象> ①中間考査及び期末考査の成績, ②Lesson 1~4, Focus on Grammar ①, ②の各課の評価問題の成績, ③授業への取り組みの様子, ④課題の提出状況と解答内容, ⑤授業時間内に行うコミュニケーション・テストの実施状況。 評価の方法の観点別分類は別紙「評価の観点」に記載。				
2学期	9月	2学期 中間考査	Lesson 5 Laughter Is the Best Medicine	<題材内容とねらい> ・笑いが健康に好影響をもたらすことについて読み取らせる。 ・笑いの効用について, 自ら考えさせる。 ・健康によいことについて, 自分の意見を発表させる。 <文型・文法事項> 現在分詞, 過去分詞, 関係代名詞(主格)を理解し, 文を作ることができる。	○		○	○	・授業での取り組み ・課題などの提出状況 ・評価問題
			Lesson 6 Take a Chance on You	<題材内容とねらい> ・アンジェラ・アキさんの夢に向かって生きる姿や, 若者に送るメッセージを読み取らせる。 ・アンジェラさんのメッセージを受けて, 自分がどのようなべきかを考えさせる。 ・好きな歌手について, 自分の意見を発表させる。 <文型・文法事項> 関係代名詞(目的格), It is ... (for A) to ~, 過去完了形, 関係代名詞 what を理解し, 文を作ることができる。	○		○	○	・授業での取り組み ・課題などの提出状況 ・評価問題
	10月		Focus on Grammar ③	<ねらい> 準動詞(現在分詞・過去分詞), 関係詞を理解し, 文を作ることができる。	○	○		○	・授業での取り組み ・課題などの提出状況
	11月	2学期 期末考査	Lesson 7 Japanese Dishes from Abroad	<題材内容とねらい> ・フードマイルの意味とフードマイル運動の問題点を読み取らせる。 ・フードマイル運動の長所と短所について自ら考えさせる。 ・朝食メニューの食品産地について発表させる。 <文型・文法事項> S+V(=be動詞)+C(=that節), 現在完了進行形, S+V+O(=疑問詞節), It is+形容詞+that節を理解し, 文を作ることができる。	○		○	○	・授業での取り組み ・課題などの提出状況 ・評価問題

学期 学期	月	学年 学年	学習項目	学習内容	a	b	c	d	評価の方法	
	12月		Lesson 8 The Sphinx in Danger	<題材内容とねらい> ・ スフィンクスに影響を及ぼしている塩害や、その原因や現状について読み取らせる。 ・ 生活が自然環境に影響を与えていることについて自ら考えさせる。 ・ 世界遺産について発表させる。 <文型・文法事項> 関係副詞(when, where), 関係副詞(why, how), S + V + O + O(=that-節), S + V + O + O(=疑問詞節)を理解し、文を作ることができる。	○		○	○	・ 授業での取り組み ・ 課題などの提出状況 ・ 評価問題	
			Focus on Grammar ④	<ねらい> 時制(現在完了形, 現在完了進行形, 過去完了形), 関係詞を理解し、文を作ることができる。	○	○		○		・ 授業での取り組み ・ 課題などの提出状況
	第2学期の評価方法			<評価の対象> ①中間考査及び期末考査の成績, ②Lesson 5～8, Focus on Grammar ③, ④の各課の評価問題の成績, ③授業への取り組みの様子, ④課題の提出状況と解答内容, ⑤授業時間内に行うコミュニケーション・テストの実施状況。 評価の方法の観点別分類は別紙「評価の観点」に記載。						
	3学期		1月	学年末考査	Lesson 9 A Bridge Between Japan and the U.S.	<題材内容とねらい> ・ テイラー・アンダーソンさんの人生について読み取らせる。 ・ 日本とアメリカの架け橋となる国際交流について自ら考えさせる。 ・ 住んでみたい国について発表させる。 <文型・文法事項> 強調構文, S + V + O + C(=原形不定詞), 助動詞+受け身, S + V + O + C(=現在分詞)を理解し、文を作ることができる。	○		○	○
Reading Education First!		<題材内容とねらい> ・ 女性や子供の人権・教育に関するマララ・ユサフザイさんの主張を読み取らせる。 ・ スピーチの表現の特徴などに注意を向けさせる。			○		○	○	・ 授業での取り組み ・ 課題などの提出状況 ・ 評価問題	
Focus on Grammar ⑤		<ねらい> 文構造を理解し、文を作ることができる。			○	○		○		
3月			Listen & Speak 1		<ねらい> ・ 英文を聞き、内容を理解して解答することができる。 ・ 対話文を理解して解答することができる。また、ロールプレイなどでの対話練習ができる。 <言語の働き> 「相づちを打つ, 所属を聞く / 伝える, 好みを聞く / 伝える」表現を用いてコミュニケーション活動ができる。 <言語の使用場面> 「学校生活」の場面の表現を用いてコミュニケーション活動ができる。	○		○	○	・ 授業での取り組み ・ 課題などの提出状況

年 次	月	学 期	学習項目	学習内容	a	b	c	d	評価の方法
			Listen & Speak 2	<ねらい> ・ 英文を聞き、内容を理解して解答することができる。 ・ 対話文を理解して解答することができる。また、ロールプレイなどでの対話練習ができる。 <言語の働き> 「予定を聞く / 言う、提案・勧誘する、承諾する」表現を用いてコミュニケーション活動ができる。 <言語の使用場面> 「余暇・趣味」の場面の表現を用いてコミュニケーション活動ができる。	○		○	○	・ 授業での取り組み ・ 課題などの提出状況
			Listen & Speak 3	<ねらい> ・ 英文を聞き、内容を理解して解答することができる。 ・ 対話文を理解して解答することができる。また、ロールプレイなどでの対話練習ができる。 <言語の働き> 道案内に関する表現を用いてコミュニケーション活動ができる。 <言語の使用場面> 「道案内」の場面の表現を用いてコミュニケーション活動ができる。	○		○	○	
			Listen & Speak 4	<ねらい> ・ 英文を聞き、内容を理解して解答することができる。 ・ 対話文を理解して解答することができる。また、ロールプレイなどでの対話練習ができる。 <言語の働き> レストランでの表現を用いてコミュニケーション活動ができる。 <言語の使用場面> 「レストラン」の場面の表現を用いてコミュニケーション活動ができる。	○		○	○	
			Listen & Speak 5	<ねらい> ・ 英文を聞き、内容を理解して解答することができる。 ・ 対話文を理解して解答することができる。また、ロールプレイなどでの対話練習ができる。 <言語の働き> 買い物に関する表現を用いてコミュニケーション活動ができる。 <言語の使用場面> 「買い物」の場面の表現を用いてコミュニケーション活動ができる。	○		○	○	
			第3学期の評価方法	<評価の対象> ①学年末考査の成績、②Lesson 9, Reading, Focus on Grammar ⑤, Listen & Speak 1～5の各課の評価問題の成績、③授業への取り組みの様子、④課題の提出状況と解答内容、⑤授業時間内に行うコミュニケーション・テストの実施状況。 評価の方法の観点別分類は別紙「評価の観点」に記載。					
学年の評価方法			①コミュニケーションへの関心・意欲・態度、②外国語表現の能力、③外国語理解の能力、④言語や文化についての知識・理解の4つの観点から表した各学期の成績から総合的に判断して、年間の評価とする。						